

伝統的工艺品等産業

長年の伝統を有する工艺品には、どんなものがあるでしょう。岩手県の南部鉄器、石川県の輪島塗、京都府の西陣織、佐賀県の有田焼などなど…いくつか思い浮かんでくるでしょうか。

それでは、秋田県の伝統的な工艺品はどうでしょう？皆さんの暮らしに溶け込んでいるものもあるかもしれません。

国指定の伝統的工艺品は、「樺（かば）細工」、「川連（かわつら）漆器」、「大館曲げわっぱ」、「秋田杉桶樽（おけたる）」の4品目です。

樺細工

仙北市角館町で主に生産される。

原材料となる山桜の樹皮の特性（滑らかで強靱、深く渋い光沢、乾燥を防ぐ）を生かした工艺品。



川連漆器

湯沢市川連町（旧稲川町）で主に生産されている。

生漆や柿渋を使った下地工程による堅牢さが特徴。仕上げは刷毛で直接塗り上げる「花塗り」で、高い技術を要する。



大館曲げわっぱ

大館市で生産される。

天然秋田杉・秋田杉を原材料とし、弁当箱等の容器を生産している。杉の弾力性を生かした曲線や木目の美しさが特徴。



秋田杉桶樽

能代市や大館市など、伝統的に秋田杉と関わり深い地域で生産されている。

酒樽、味噌桶、漬物桶、風呂桶などが生産されている。



県の伝統的工艺品の指定を受けたのは、「川連こけし」、「イタヤ細工」、「秋田銀線細工」、「大曲の花火」の4品目です。

川連こけし

湯沢市



秋田銀線細工

秋田市



イタヤ細工

仙北市



大曲の花火

大仙市



このほかにも、「秋田八丈」、「^{ならおか}「橿岡焼」、「中山人形」や、地場産業として産業集積している「秋田仏壇（川連仏壇とも呼ばれる）」などもあります。

こうした工艺品は、秋田県特有の風土に生まれ、長い歴史の中で伝えられてきたものであり、地域に根差した地場産業であるとともに、生活にゆとりと豊かさをもたらすものとして高い評価を得ています。

地域独自の文化を見直そうとする風潮や、「和」の暮らしや「手しごと」に対する再評価などもあり、近年、伝統的工艺品を見直す動きもあります。現代の生活様式に合ったものや、他の産地や工業製品と組み合わせるなどの売れる商品づくりが必要となっています。

【もっと知りたい場合は】

【ものづくり展示ホール】(P7)

【あぎたの伝統的工艺品 手しごと秋田】

Webサイト <http://common3.pref.akita.lg.jp/tesigoto/>



秋田公立美術大教授がデザインしたカトラリー【川連漆器】